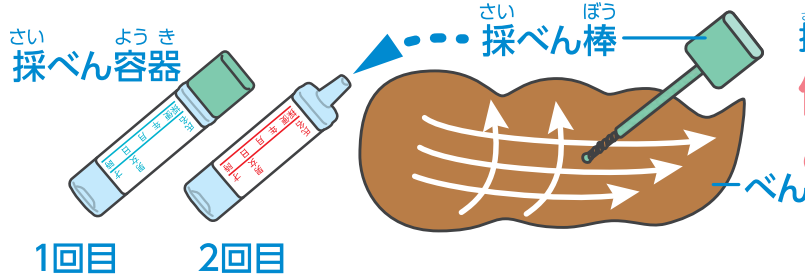
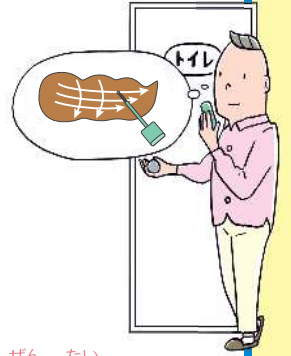


だいちょう けんしん べん せん けつ けん さ
大腸がん検診は **便潜血検査** です。

じ たく かんたん けん さ
自宅で便をとるだけの簡単な検査で、

いた しょく じ せいげん
痛みも食事制限もありません。

か ぶん べん してい まど ぐち ていしゅつ
2日分の便をとり、指定の窓口へ提出します。

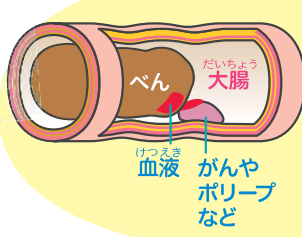
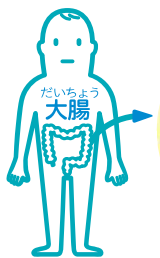


さい 採べん 棒で 便の表面全体を こすります。

Q3. ヒント



先端の溝が埋まる程度



だいちょう 大腸がんやポリープがあると 便とこすれて出血することがあります。検査ではこの表面に付いたわずかな血の有無を調べて病気の疑いを見つけます。

毎年、検診を受けることで 死亡する可能性が 60~80%も 減ります。

出典：平成16年度 厚生労働省がん研究助成「がん検診の適切な方法とその評価法の確立に関する研究」班「有効性評価に基づく大腸がん検診ガイドライン」

◎採便後の容器は提出まで冷蔵所(冷蔵庫や保冷バッグなど)で保管。容器は密閉されており周囲を汚す心配はありません。

※便は2日に分けてとる方法が一般的ですが、困難な場合は同日に別の便から採取しても構いません。 ※痔から出血があるときや生理中は採便を控えてください。

Q4. ヒント

いん せい 陰性(-)

がんやポリープなどから常に出血しているとはかぎりません。たまたま「陰性(-)」となる場合もありますので、毎年続けることが大切です。

よう せい 陽性(+)

がんやポリープがなくても、「陽性(+)」となる場合がありますが痔のせいにする、便潜血検査をくりかえす、様子を見るなどの自己判断はまちがいです。

1年に1回の便潜血検査

いじょう 異常なし

せいみつけんさ ぜん だい ちょう ない し きょう けん さ
精密検査 全大腸内視鏡検査

検診の結果に「要精密検査」や 1つでも「陽性(+)」があれば 必ず精密検査を受けましょう。

便潜血検査を再度受けて 陰性(-)になっても “大腸がんがない”という 保証にはなりません。

※全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と 注腸エックス線検査の併用などがあります。 ※精密検査の結果は、市区町村・医療機関・検診機関が保管します。



注意 検診で陰性(-)でも気になる症状がある場合は、必ずすぐに医療機関を受診しましょう。

気になる症状の一例

- 便に血が混じる・付着する
- 急に便の太さが変わった
- 便秘や下痢をくり返す
- 腹痛や腹部のしこり など



いじょう 異常なし

しん ぜん 診断

大腸がんなどの 病気を発見

ちりょう かいし 治療開始

いじょう 異常あり